



開園90周年

麻布幼稚園だより

令和6年9月号
港区立麻布幼稚園
園長 酒井 正美

2学期が始まりました。元気な子供たちに会うことができ、大変うれしく思います。夏休みはいかがお過ごしでしたでしょうか。大変に暑い日が続きましたが、各ご家庭で工夫をしながら過ごされたことと思います。夏季休業中の幼稚園では、主事が園内の環境整備やワックスがけを行い、教員は教材等の整備や研修をするなどしてきました。園庭の畑は工事をし、より広く、土を深くし、野菜等が育ちやすいようにしました。教職員はそれぞれに休みもいただき、心身を充実させています。

「地域コーディネーター」の呼び掛けにより、地域や修了児保護者の皆さまが「夏季休業中の水遣り」に協力をしてくださいました。暑い日が続きましたが、園内の植物は枯れることなく元気です。年長組が種から育てた「ポップコーン(トウモロコシ)」や屋上の「サツマイモ」が大きく生長しています。快く引き受け、暑い中に水遣りをしてくださった皆様に感謝いたします。

子供たちが、ぐんと成長をする充実の2学期の始まりです。子供たちの「何だろう」「おもしろそう」「どうしてかな」という興味や関心、「やってみよう」「もう一回」という意欲、「楽しかった」「できたよ」の満足感や充実感が味わえるように、教師は幼児の実態に合った環境を準備し、主体的な学びを支えています。始業式に、子供たちに二つのことを話しました。

○「自分のことは自分でしましょう。」

登園時、自分のリュックは自分で背負ってくること、自分の荷物は自分で持ってくること、帽子は自分で被ってくること、また、使うものは自分で出して使い終わったら自分で片付けることなど、「自分のことは自分ですること」は、自分のしたことに責任をもつことにもつながります。発達に合わせ、意欲をもち自分で取り組み、自分でできた満足感や自信につなげていってあげたいと思います。

○「相手の顔を見て話を聞きましょう。」

「相手の顔を見て話を聞くと、みんなの目や耳から話が体の中に入って、しっかり心まで届きます。」と話をしました。自分なりに考えをめぐらしながら、相手の話を聞く習慣を身に付けてほしいと思います。また、相手の顔を見て話を聞くことは、相手を大切にすることにもつながります。

二つとも当たり前のことですが、日々の積み重ねで、子供たちにとっても当たり前の習慣としていければと思います。保護者の皆様と共に、お子さんの成長の姿を見据えながら、幼稚園の教育を進めてまいります。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

麻布幼稚園は、今年度開園90周年を迎えます。

11月30日には、開園90周年記念式典を予定しています。皆様と共に90周年をお祝いし、歴史ある幼稚園が、園児、保護者、地域の皆様に、これからも愛され必要とされ続けるよう、歩んでいきたいと思っています。

90周年に向けて、周年のマスコットが誕生しました。

園章の二羽の鳩が、子供たちと周年のお祝いをしたくて遊びにやってきました。年長組の子供たちが、名前を付けてくれました。いつもニコニコの「にっちゃん」、いつもワクワクの「わっちゃん」です。よろしくお願いいたします。

